

# 令和5年度福島県学術教育財団による助成事業の現在までの経過報告

1. 協力学級・組織……中学部、高等部、各1学級、進路指導部

2. 活動を予定する内容について

(1)VR ゴーグルを用いた疑似体験

360度カメラで撮影した学校内外の身近な映像に、動画編集ソフトにて編集を加える。VR ゴーグルを装着し、実際に自分が動かした方向に映像が追従する疑似体験を通し、児童生徒が様々な視点での気付きを学び合う学習に活用する。(授業活用アイデア参照)

①撮影した素材動画の編集



動画編集ソフト

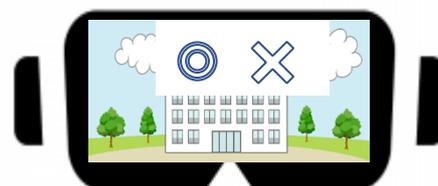


360度動画再生プレイヤー(アプリ)

②VR ゴーグルを装着して疑似体験



目的地まで歩く。



目的地で適切な行動をとる。

③360度カメラの映像



〈例:施設の状況〉



〈例:登下校の通学路〉

## 360度カメラによる授業活用アイデア

○テーマ:さまざまな視点からの風景を見てみよう

ねらい:多様性について考えを深めることができる。

内容:

歩行中の風景 車いす利用者から見える風景 虫から見える風景など  
さまざまな視点からの風景を撮影する。

- ・車いす利用者が段差を乗り越えるときの気持ちは
- ・虫にとって危険を感じる瞬間は 例)人間の足、水たまり 等



○テーマ:歩行者の交通ルールとマナーを考えよう

ねらい:危険予知、事故回避能力を高めることができる。

内容:

登下校で実際に通る道を事前に撮影する。

- ・信号機のない横断歩道を渡るとき、何に気を付けるか
- ・歩道が狭いとき、何に気を付けるか 等



○テーマ:施設内の仕組みを見てみよう

ねらい:バリアフリーについて考えることができる。

内容:

校外学習や修学旅行で実際に見学する施設を事前に撮影する。

- ・車いす利用者はどこから入ればいいのか、上に上がればいいのか
- ・視覚障がい者をどのように案内すればいいのか
- ・緊急時はどのように動けばいいのか 等



○テーマ:身近なものを撮影してみよう

ねらい:自分の見た景色について、他の人に説明することができる。

内容:

自分が撮ってみたい風景や場所、物を撮影する。

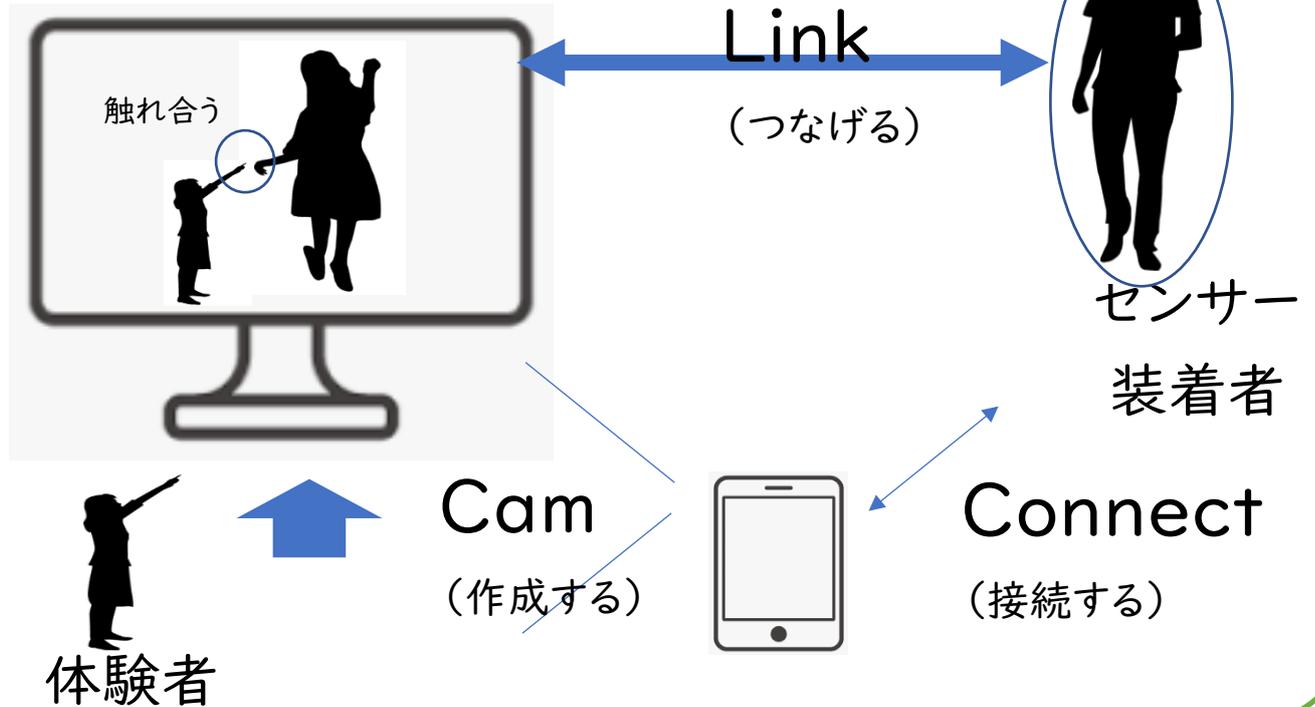
撮影後、自分が撮影したものをテレビに映し、鑑賞したり発表したりする。

※夏季休業中に、物品を購入したり、協力企業と連携して教員が機器の整備及び機器の使用方法等について学んだりし、2学期以降、協力学級・組織を中心とした授業実践を行っていく。

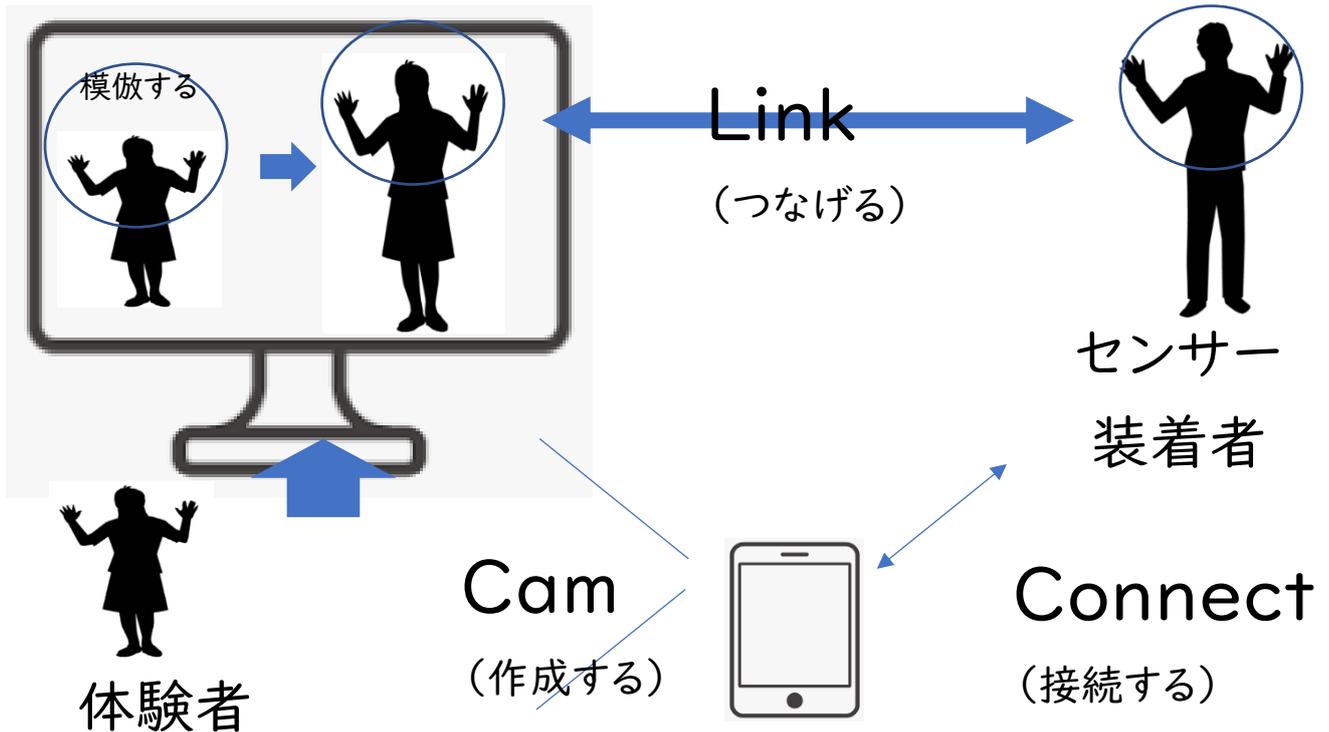
(2) モーションキャプチャーを使用した動きの体験

モーションキャプチャー機器を身体に装着し、自分と同じ動きをするアバターを教室のスクリーン等に映し出す。周りの映像に合わせて身体を動かすなど、アクティブな体験活動を行う。

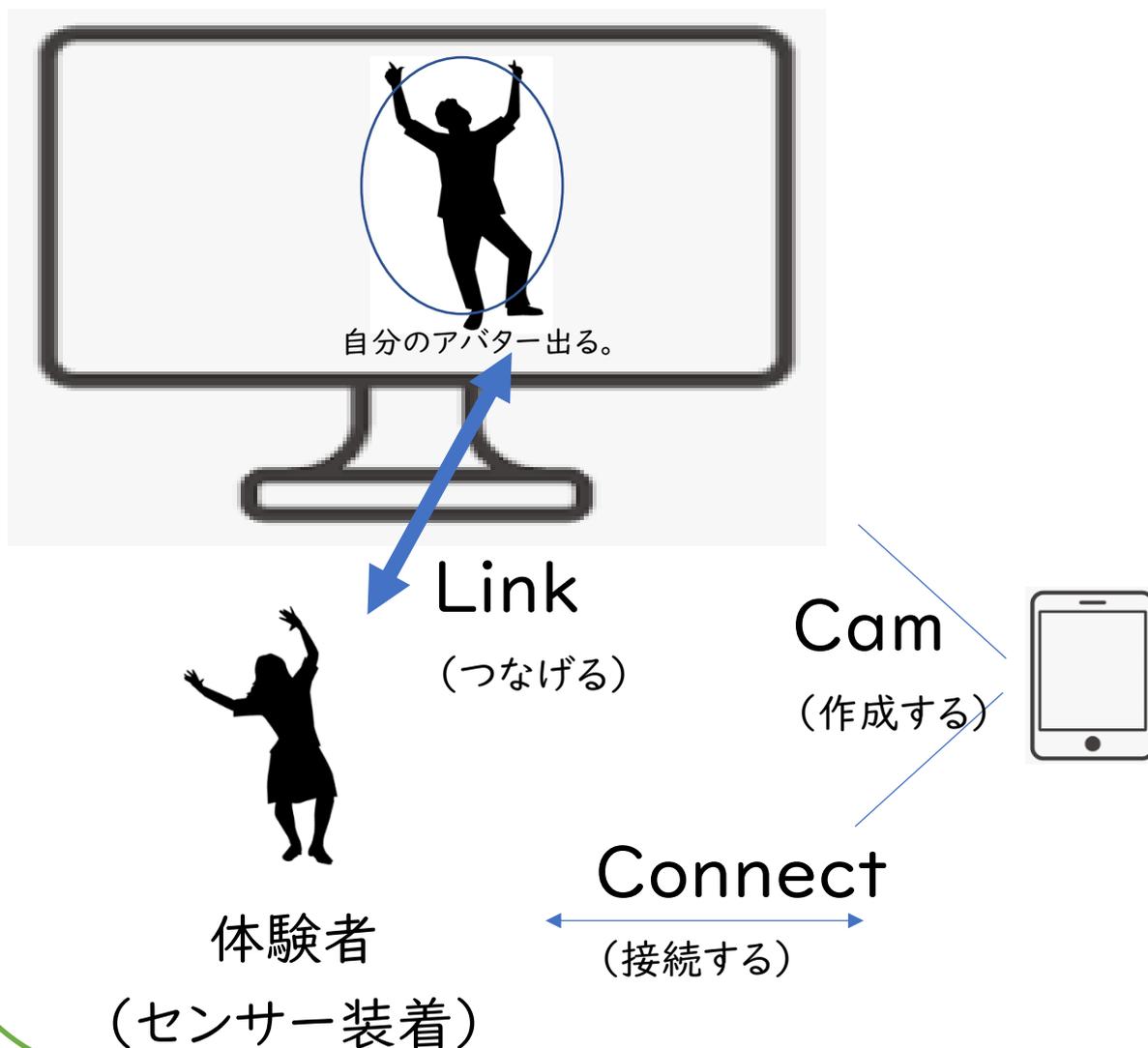
① 体験者が画面を通してアバターと触れ合うパターン



② 体験者がアバターの動きを模倣するパターン



③体験者がセンサー装着者として活動するパターン



※PTA およこまつりにおいて、実際にこのモーションキャプチャを使い、①モーションキャプチャ装着者のアバターと触れ合ったり、写真を撮ったり、②モーションキャプチャ装着者のアバターの動きを模倣して身体を動かしたり、③体験者が自分のアバターを出現させ、モニターに映し出されたダンス等の映像を模倣し、身体を動かした体験をしたりする活動を実施した。